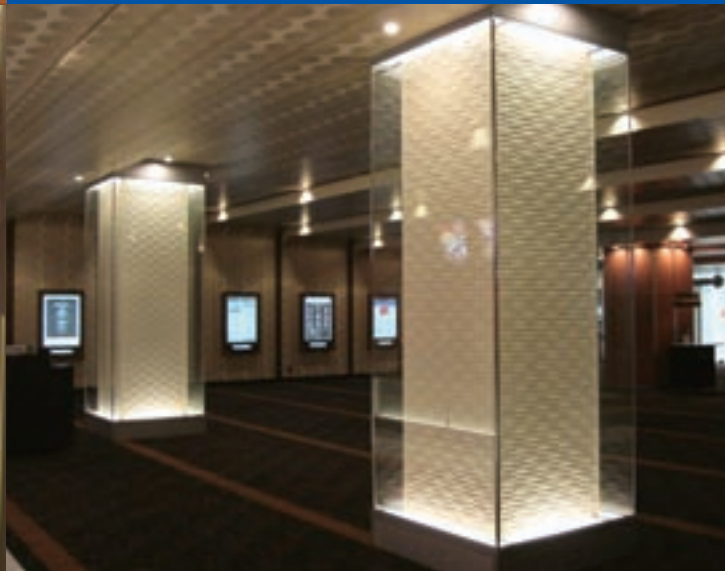
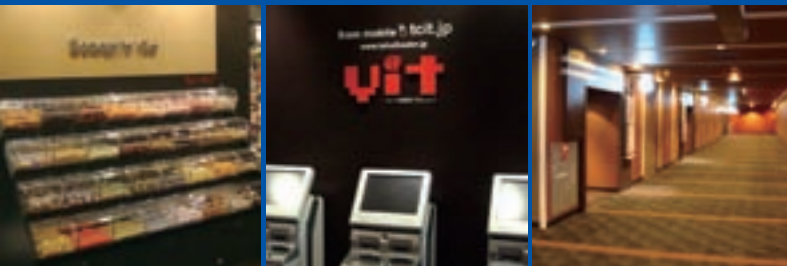


第121期 報告書

平成21年3月1日から平成22年2月28日まで



東宝株式会社

証券コード：9602

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

世界同時不況の影響を受け、急激な景気悪化に陥った我が国の経済は、漸く底を打ったと言われるものの、回復の動きに力強さは見られません。当社グループの成績もこうした経済情勢の影響を広く受ける結果となりました。

当期を振り返りますと、映画事業は各配給作品が順調に稼働したものの、前期ほどのメガヒットに恵まれず減収となりましたが、全国にシネコンを展開するTOHOシネマズ(株)がデジタルシネマの先行導入、お客様サービスの向上、オペレーションの効率化等により前期より収益を上げることができました。一方で、DVD市場の縮小によりビデオ事業が落ち込んだほか、テレビ業界の制作費削減等の影響を受け、映像制作関連の諸事業を展開するグループ会社が苦戦を強いられました。

演劇事業におきましては、帝国劇場・シアタークリエを中心に話題のミュージカル公演や意欲的な新作に取り組み、好成績を残せた作品もありましたが、景気低迷による団体動員の減少で、全体では減収を余儀なくされました。

不動産事業も、オフィス賃貸市況の悪化に歯止めがかからず、不動産賃貸事業、不動産保守・管理事業は前期を下回る厳しい結果となりました。

来期以降も、不透明な経済情勢と厳しい経営環境は続くものと思われます。また、当社グループの主力事業である映画事業では、製作から興行までデジタル化に伴うビジネスの革新がさらに加速するものと予想されます。

そのなかで当社グループは、常にお客様のニーズを的確に捉え、魅力あるソフトの提供を第一に、我々の強みを活かした「攻め」の姿勢で、さらなるビジネスの拡大を図ってまいります。また、厳しい経営環境にあるグループ各社も、より一層、丁寧な営業活動と弛みない効率化の努力を重ね、グループの総力を挙げて業績の向上に取り組む所存でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 高井 英幸

営業の概況

当期におけるわが国の経済は、世界同時不況の影響による景気後退から漸く持ち直しつつあるとされる一方で、依然として失業率が高水準にあるなど雇用情勢の厳しさが続き、個人消費や企業の生産水準も低迷したまま「デフレ」の状態で推移いたしました。

映画界におきましては、2009年の年間興行収入が3年ぶりに2,000億円を超え歴代2位の数字となり、邦画の興行収入は昨年を凌いで過去最高を更新し2年連続で洋画のシェアを上回りました。さらに「アバター」に代表される相次ぐ3D映画の公開は、21世紀における映画の新たな可能性を示し、社会的にも大きく取り上げられるトピックとなりました。

このような情勢下にあって当社グループでは、前年ほどのメガヒット作品には恵まれなかったものの「ROOKIES―卒業―」を筆頭に数々のヒットを連打した映画事業の映画営業事業部門が順調に推移、洋画でもヒット作を公開した映画興行部門、不動産事業の道路事業部門が成績を伸ばしました。一方映画事業の映像事業部門、演劇事業は伸び悩みました。この結果営業収入は2,016億9千9百万円（前期比5.5%減）、営業利益は191億5千9百万円（前期比17.6%減）、経常利益は201億7千3百万円（前期比21.7%減）となりましたが、前期は特別損失に投資有価証券評価損等を大幅に計上したことにより、当期純利益は78億7千6百万円（前期比243.3%増）となりました。

以下各事業部門ごとにご報告申し上げます。

■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、当社において表1記載の33番組34本を提供いたしました。また、東宝東和(株)において「レッドクリフPartⅡ―未来への最終決戦―」「イングリッド・バスターズ」等13本を配給いたしました。その結果、映画営業事業収入は、402億6千7百万円（前期比15.8%減）となりました。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心にグループ

表1. 当期中の提供映画作品

① 共同製作・配給作品	
ジェネラル・ルージュの凱旋	クローズZEROⅡ
名探偵コナン 漆黒の追跡者	余命1ヶ月の花嫁
ROOKIES―卒業―	真夏のオリオン
ごくせん THE MOVIE	アマルフィ 女神の報酬
20世紀少年<最終章>ぼくらの旗	BALLAD 名もなき恋のうた
劇場版デュエル・マスターズ 黒月の神帝 ルナディック・ゴッド・サーガ	
劇場版ペンギンの問題 幸せの青い鳥でご本なさい	
カイジ〜人生逆転ゲーム〜	沈まぬ太陽
なくもんか	曲がれ! スプーン
宇宙戦艦ヤマト 復活篇	のだめカンタービレ 最終楽章 前編
ウルルの森の物語	映画 レイトン教授と永遠の歌姫
BANDAGE バンデイジ	食堂かたつむり
② 株東宝映画製作・当社配給作品	
ハゲタカ	僕の初恋をキミに捧ぐ
ゼロの焦点	ゴールデンランパー
③ ①②以外の当社配給作品	
映画ドラえもん 新・のび太の宇宙開拓史	ホノカアボーイ
クレヨンしんちゃん オタケベ! カスカベ野生王国	劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール アルセウス 超克の時空へ
劇場版NARUTO―ナルト―疾風伝 火の意志を継ぐ者	ホッタラケの島 遥と魔法の鏡
キラー・ヴァージンロード	ヴィヨンの妻 桜桃とタンポポ

各興行会社において前記各作品のほかに、「天使と悪魔」「ハリー・ポッターと謎のプリンス」「マイケル・ジャクソン THIS IS IT」「2012」「カールじいさんの空飛ぶ家」「ONE PIECE FILM Strong World」「アバター」等、邦洋画の話題作を上映いたしました結果、映画興行事業収入は、635億1千1百万円（前期比7.5%増）となりました。なお、当社グループの当期中の劇場興動は次頁の表2の通りとなり、興行網の再構築を引続き進展させました。これらにより、当社グループのスクリーン数は4スクリーン増の582スクリーン（共同経営44を含む。）となりました。また、各地の劇場への新チケット販売システム導入を拡充、さらにデジタルシネマ機器及び3D機器の設置を推進し、お客様へのサービス強化に努め、他社との差別化を図りました。



■ 「アマルフィ 女神の報酬」
©2009 フジテレビジョン 東宝 電通 ボニーキャニオン
日本映画衛星放送 アイ・エヌ・ピー FNS27社



■ 「のだめカンタービレ 最終楽章 前編」
©2009 フジテレビ・講談社・アミューズ 東宝・FNS27社



■ 「ゴールデンランパー」
©2010「ゴールデンランパー」製作委員会

表2. 当期中の劇場異動

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
平成21年 3月31日	東宝公衆	△1	京都市	(株)公衆会館	閉館
4月16日	甲宝シネマ	△4	山梨県 甲府市	関西共栄興行(株)	事業譲渡 (経営は地元企業)
7月23日	TOHOシネマズ ららぽーと磐田	10	静岡県 磐田市	TOHOシネマズ(株)	オープン
平成22年 1月22日	シネフロント	△1	東京都 渋谷区	TOHOシネマズ(株)	閉館

映像事業のうち映像制作事業では、当社においてテレビ放送用連続ドラマ「ブラッディ・マンデイ」、「宿命1969-2010 ーワンス・アポン・ア・タイム・イン・東京-」「マイ・ガール」（制作協力）、スペシャルドラマ「サマヨイザクラ」「シューシャインボーイ」、2時間ドラマ「棟居刑事の黙示録」「捜し屋★諸星光介が走る！⑤」を制作し、また劇場用映画「ROOKIESー卒業-」「食堂かたつむり」を製作いたしました。ビデオ事業は、当社において表3ほかの提供を行いました。

出版・商品事業は、「クローズZEROⅡ」「ROOKIESー卒業-」「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール アルセウス 超克の時空へ」を始めとする当社配給作品が、洋画では「レッド・クリフPartⅡー未来への最終決戦-」「カールじいさんの空飛ぶ家」「アバター」等が順調に稼働いたしました。著作権事業は、2009年9月29日よりデアゴスティーニ・ジャパン社発行「東宝特撮映画DVDコレクション」の全国発売を始めとする「東宝怪獣キャラクター」等の商品化権収入に加え、各種配分金がありました。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、(株)東宝コスチューム等各社では、不況によるクライアントの予算削減の影響を受けながらもコスト削減に努め、映画・演劇の美術、イベント、広告その他の事業において受注増を図りました。しかしながら映像事業収入は前期には及ばず、228億3千1百万円（前期比14.4%減）となりました。

以上の結果、映画事業収入は、1,266億1千1百万円（前期比5.2%減）となりました。

表3. 当社において当期中に提供した主なビデオ作品

作品・商品名	年	レンタル用DVD (リリース日)	販売用DVD (発売日)
パコと魔法の絵本	平成 21年	3月6日	—
子連れ狼DVD-BOX 冥府魔道の巻		—	3月20日
イキガミ		4月10日	4月24日
ホームレス中学生		4月24日	4月24日
放浪記 DVD-BOX		—	4月24日
ハッピーフライト (※販売用ブルーレイディスクも発売)		5月22日	5月22日
劇場版MAJOR 友情の一球		6月12日	—
感染列島(※販売用ブルーレイディスクも発売)		7月10日	7月24日
ホルテンさんのはじめての冒険		7月10日	7月24日
20世紀少年ー第2章ー最後の希望		8月7日	—
ジェネラル・ルージュの凱旋		9月9日	—
チョコレート・ファイター		9月9日	9月18日
東宝特撮Blu-rayセレクション ゴジラ (昭和29年度作品)		—	9月18日
東宝特撮Blu-rayセレクション 空の大怪獣 ラドン		—	9月18日
クローズZEROⅡ		10月2日	—
黒澤明監督作品 AKIRA KUROSAWA THE MASTERWORKS Blu-ray Disc CollectionⅠ		—	10月23日
余命1ヶ月の花嫁		11月6日	—
扉をたたく人		11月6日	11月20日
ROOKIESー卒業ー		12月4日	—
黒澤明監督作品 AKIRA KUROSAWA THE MASTERWORKS Blu-ray Disc CollectionⅡ	平成 22年	—	12月18日
映画 ハゲタカ (※販売用ブルーレイディスクも発売)		1月15日	1月15日
20世紀少年ー最終章ーぼくらの旗		2月19日	—
黒澤明監督作品 AKIRA KUROSAWA THE MASTERWORKS Blu-ray Disc CollectionⅢ		—	2月19日

■ 演劇事業

演劇事業では、帝国劇場におきまして、2000年の初演から全席完売の記録を更新している「Endless SHOCK」、前人未到の上演2,017回の記録を達成し、主演の森光子が国民栄誉賞に輝いた「放浪記」を始め、大ヒットとなりました「レ・ミゼラブル」、全席完売が続く「DREAM BOYS」、「新春 人生革命」/「新春 滝沢革命」等好調に推

移しました。シアタークリエでは「ニュー・ブレイン」「この森で、天使はバスを降りた」「グレイ・ガーデンズ」など日本初演となる新作ミュージカルが、高い舞台成果の公演となりました。日生劇場では、世界初演のミュージカル「シラノ」、「屋根の上のヴァイオリン弾き」が好成績を記録、「友&仁 (You&Jin)」は全席完売となりました。東宝オリジナルミュージカル「マリー・アントワネット」のドイツ公演も実現し、全国へと展開を続けている社外公演などが事業収益に多大の寄与をいたしました。一方、東宝芸能(株)では、テレビ局や広告業界におけるコスト削減の影響を受け芸能部門、エンターテイメント部門が低迷し、また(株)コマ・スタジアムでは青山劇場等での公演を積極的に展開しましたが、景気後退の影響で団体動員が伸び悩み、これらの結果、演劇事業収入は138億8百万円（前期比13.4%減）となりました。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では、当社の不動産経営部門において、昨年4月にアビティ成城（社員寮・賃貸住宅）が竣工し、業績に寄与いたしました。10月には東京都世田谷区にあります2つの物件「農場オープン地（東宝ビル跡）」と「アビティ砧（円谷プロ建物跡）」の開発に着手いたしました。また、景気後退による企業各社の経費削減対策の一環として賃料が低減傾向にあるオフィス賃貸業界においては「借り手市場」という厳しい状況にありますが、丁寧な営業活動を行うことによって収益の維持に努力いたしました。また東宝スタジオでは、総額50億円の「第2次改造計画」がスタートし、新ポストプロダクションセンター、撮影用ステージ2棟、第2プロダクションセンター、特殊メイク棟の新築工事に着手いたしました。同スタジオを拠点として製作された映画作品は、「ゼロの焦点」「ノルウェイの森」「SPACE BATTLESHIP ヤマト」など当社配給作品を中心に約40本となり、CMは景気悪化の影響を受けましたが約90本を誘致しました。また東宝不動産(株)においては、収益性・将来性に優れた新規賃貸物件の取得・開発に努めるとともに、ビル諸設備等の改修・改善、テナントへのきめ細

やかな対応を図るなど積極的な営業活動を展開いたしました。萬活土地起業(株)においては7月に東宝アルパビル（リッチモンドホテル鹿児島天文館）が、三和興行(株)においては11月に新宿三丁目東宝ビル「レインボービレッジ」が開業し、稼働を開始いたしました。さらに全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社も、営業努力を続けました。その結果、不動産賃貸事業収入は282億6千2百万円（前期比6.6%減）となりました。

道路事業では、国及び地方自治体の財政事情はますます厳しく、公共事業費の削減により業者間の受注競争はさらに激化、厳しい事業環境が続きました。このような情勢のもと、スバル興業(株)とその連結子会社が各分野において積極的な営業活動を展開し、道路の維持・清掃及び補修工事等における主要物件を概ね受注することができました。また、マリーナ事業においても新規イベントを展開、利用契約者数も増加し、道路事業収入は191億9千6百万円（前期比5.3%増）となりました。

不動産保守・管理事業では、不動産市況の低迷による厳しい経営環境のもと、東宝ビル管理(株)、(株)東宝サービスセンターにて新規・臨時受注にも取り組むとともにコスト削減努力を重ねましたが、拍車のかかる管理費減額等の影響により、不動産保守・管理事業収入は104億7千9百万円（前期比9.2%減）となりました。

以上の結果、不動産事業収入は579億3千7百万円（前期比3.5%減）となりました。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業では、本年2月に「東宝日曜大工センター」2店舗（成城・調布）を(株)くろがねやに事業譲渡いたしました東宝共栄企業(株)、及び(株)東宝エンタープライズ等において、消費者の低価格志向による採算悪化という深刻な状況のなか、顧客ニーズに沿った柔軟な営業体制の構築に努めましたが、その他事業収入は33億4千2百万円（前期比15.2%減）となりました。



■ 「アバター」
©2009 TWENTIETH CENTURY FOX



■ 連続ドラマ「宿命 1969-2010 ーワンス・アポン・ア・タイム・イン・東京-」



■ 「映画 ハゲタカ」Blu-ray
©2009 「ハゲタカ」製作委員会



■ 帝国劇場「レ・ミゼラブル」



■ シアタークリエ「グレイ・ガーデンズ」



■ 三和興行(株) 新宿三丁目東宝ビル「レインボービレッジ」

来期の見通し

今後のわが国経済は、緩やかな持ち直しが期待されるものの、経済活動の水準は依然低いま国内の需要不足は解消されておらず、まだまだ予断を許さない厳しい状況が続くことが懸念されます。

映画界におきまして、こうした景気の先行き不透明感が、消費者の選別思考をより強くすることにつながっており、ヒット作を生み出すための、クオリティの高い消費者ニーズにあったコンテンツの提供を、最重要課題として対処してまいります。

そのようななか、当社グループの通期における業績見通しは、営業収入1,854億円（前期比8.1%減）、営業利益170億円（前期比11.3%減）、経常利益176億円（前期比12.8%減）、当期純利益は91億円（前期比15.5%増）をそれぞれ予想いたしております。

以下各事業部門別の見通し（2月末現在）をご説明申し上げます。

■ 映画事業（映画営業事業、映画興行事業、映像事業）

映画営業事業は、当社において表4記載の作品を提供する予定をいたしております。

また、東宝東和(株)において「ウルフマン」「グリーン・ゾーン」等の配給を予定しております。これらにより、映画営業事業収入は344億円（前期比14.6%減）を見込んでおります。

映画興行事業では、TOHOシネマズ(株)を中心とするグループ各興行会社が前記配給作品に加え、「アリス・イン・

表4. 来期提供予定映画作品

① 共同製作・配給作品	
ライアーゲーム ザ・ファイナルステージ	ダーリンは外国人
名探偵コナン 天空の難破船	のだめカンタービレ 最終楽章 後編
劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル	ボックス！
座頭市 THE LAST FLOWERS－フラワーズ－	告白 借りぐらしのリエッティ
ハナミズキ－君と好きな人が、百年経きますように－	カラフル
劇場版 メタルファイト ベイブレードVS太陽 ～灼熱の侵略者ソルブレイズ～ 劇場版デュエル・マスターズ	悪人
THE LAST MESSAGE 海猿	十三人の刺客
雷桜	SP THE MOTION PICTURE 野望篇
SPACE BATTLESHIP ヤマト	チェブラーシカ くまのがっこう ～ジャッキーとケイティ～
劇場版BLEACH 4（仮）	僕と妻の1778の物語
GANTZ	
② ①以外の当社配給作品	
映画ドラえもん のび太の人魚大海戦	映画クレヨンしんちゃん 超時空！嵐を呼ぶオラの花嫁
踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ！	劇場版ポケットモンスター ダイヤ モンド・パール 幻影の覇者ゾロアーク
劇場版NARUTO－ナルト－疾風伝 ザ・ロストタワー	ノルウェイの森

ワンダーランド」「トイ・ストーリー3」「ソルト」「ハリー・ポッターと死の秘宝（PART1）」「ナイト&デイ」「トロン：レガシー（仮題）」等の大作、話題作を上映する予定です。これらにより、映画興行事業収入は581億円（前期比8.5%減）を見込んでおります。来期も引き続きデジタルシネマ・システム関係の投資等による将来に向けたインフラ整備を推進、観客へのサービスの向上を図り、競合の激化する経営環境において映画興行事業の強化を進めてまいります。

一方、当社グループの来期中の劇場異動予定は表5の通りとなり、引続き興行体制の充実に努めます。

表5. 来期中の劇場異動予定

月日	劇場名	スクリーン数	場所	経営主体	異動内容
4月16日	TOHOシネマズ 上大岡	9	横浜市	TOHOシネマズ(株)	オープン

映像事業のうち映像制作事業では、当社において連続ドラマ「警部補 矢部謙三」他のテレビ番組を制作し、また劇場用映画「劇場版TRICK 霊能力者バトルロイヤル」「告白」「悪人」他を製作いたします。ビデオ事業は、レンタル及びセル用DVD作品として「劇場版デュエル・マスターズ 黒月の神帝 ルナティック・ゴッド・サーガ」「劇場版ペンギンの問題 幸せの青い鳥でごペンなさい」「あの日、欲望の大地で」「マイガール」「人生に乾杯！」「沈まぬ太陽」「ゼロの焦点」等を提供し、他にレンタル用DVD作品として「カイジ～人生逆転ゲーム～」「スペル」「なくもんか」等、セル用作品は“東宝特撮Blu-rayセレクション”を始めとするブルーレイディスク事業を推し進め、その他多数のスポーツDVD等バラエティに富んだ作品群を提供します。出版・商品事業は、「踊る大捜査線 THE MOVIE 3 ヤツらを解放せよ！」「劇場版ポケットモンスター ダイヤモンド・パール 幻影の覇者 ゾロアーク」「借りぐらしのリエッティ」「トイ・ストーリー3」を中心に展開し売上増をめざします。版權事業は、NHK教育テレビにて月曜～金曜毎朝夕放映中のTVアニメ「はなかつぱ」を製作し、キャラクタービジネスの拡大に注力するとともに、既存版權の活性化をめざします。また、新規事業になります

ODS（Other Digital Stuff:映画以外のデジタルコンテンツ）の配給業務にも注力し、多数のラインアップを提供いたします。また、(株)東宝映像美術、東宝舞台(株)、東宝アド(株)等各社で、コスト削減等に取り組みながら各種事業のさらに積極的な営業活動に取り組んでまいりますが、景気後退下の厳しい状況は当面続くと思われ、映像事業収入は232億円（前期比1.6%増）を見込んでおります。

以上の結果、映画事業収入は1,157億円（前期比8.6%減）を見込んでおります。

■ 演劇事業

演劇事業では、帝国劇場にて3月に全席完売の記録を更新している堂本光一主演「Endless SHOCK」、4・5月はシアタークリエでの大ヒットを受けて大劇場ヴァージョンが実現したミュージカル「レベッカ」、6月は「レ・ミゼラブル」の演出家ジョン・ケアード版「キャンディード」、7月は「Endless SHOCK」、8・9・10月は「エリザベート」、11・12月は「モーツァルト！」と大ヒット・ウィーンミュージカルを連続上演いたします。シアタークリエは、3月は「THE39STEPS」、戦国アクション時代劇「ガーンネット・オペラ」、4月はトニー賞8部門受賞に輝く傑作「ガイズ&ドールズ」、5月は内博貴によるファン感謝ライブ「オレの内に来てクリエ！」、A・B・C-Zプロデュース、フレッシュジャニーズJr.による「みんなクリエに来てクリエ！」、7月以降は、オリジナル・ミュージカル・コメディ「まさかのChange?!」、お客様参加型スポーツミュージカル「真夏の大会」、数々の演劇賞に輝く「宝塚BOYS」、感動の実話を初舞台化「奇跡のメロディ」、待望



■ 「告白」
©2010「告白」製作委員会



■ 「悪人」
©2010「悪人」製作委員会



■ 「THE LAST MESSAGE 海猿」
©2010 フジテレビジョン ROBOT ボニーキャニオン
東宝 小学館 エー・チーム FNS27社



■ 「トイ・ストーリー3」
©Disney/Pixar



■ 「沈まぬ太陽」Blu-ray
©2009「沈まぬ太陽」製作委員会



■ DVD「カイジ～人生逆転ゲーム～」
©福本伸行・講談社／2009「カイジ」製作委員会

の再演となる「RENT」、人気漫画のミュージカル化となる「プライド」などバラエティ溢れる作品が揃いました。社外公演は「レベッカ」「モーツァルト！」などの全国公演にも積極的に取り組み、東宝演劇公演を全国へ展開いたします。また東宝芸能(株)にてエンターテインメント事業における増収を図るほか、積極的な営業活動を展開してまいります。

これらの結果、演劇事業収入は131億円（前期比5.1%減）を見込んでおります。

■ 不動産事業（不動産賃貸事業、道路事業、不動産保守・管理事業）

不動産賃貸事業では当社の不動産経営部門において、開発中の「アビティ砧」（賃貸マンション）、「農場オープン地（東宝ビル跡）」（賃貸集合住宅）、「（仮称）京都東宝公楽ビル」（ロイヤルパークホテル）及びリニューアル工事中の「調布ゴルフコース内の練習場とテニスコート」の完成へ向けて鋭意工事を進捗させます。また、長期的な視野に立った設備改修や企画立案を通し、全国に所有する不動産の有効活用に努めます。東宝スタジオでは、3月に特殊メイク棟（スペシャルメイクアップセンター）、4月に第2プロダクションセンターが完成するのに続き、9月にはいよいよ第2次改造計画の目玉である新ポストプロダクションセンターがオープンします。最新のデジタル環境に対応したダビングルーム・フォーリースタジオ・アフレコスタジオ・試写室・各種編集室等を備えた最新鋭の施設です。同時に撮影ステージ2棟もオープンし、スタジオの改造が完成します。また6月よりスタジオ南側敷地の商業開

発にも着手し、スタジオ事業の収益性を高めます。また東宝不動産(株)においては、立地・環境・収益性等に優れた新規賃貸物件の取得に努めるとともに積極的な営業活動により業績の向上を図ります。さらに、全国各地で不動産賃貸事業に関わる連結各子会社においても営業努力を続けてまいります。これらの結果、不動産賃貸事業収入は282億円（前期比0.2%減）を見込んでおります。

道路事業では、スバル興業(株)とその連結子会社において、景気後退に伴う国や地方自治体による財政事情の一層の悪化が、公共事業費の削減化へ多大な影響を及ぼし、厳しい経営環境が続くものと予想されます。この結果、道路事業収入は172億円（前期比10.4%減）を見込んでおります。

不動産保守・管理事業では、管理費の低価格競争が続くなかで、東宝ビル管理(株)及び(株)東宝サービスセンターにおいて、コスト削減を図るとともに、積極的な新規受注に努めてまいります。不動産保守・管理事業収入は101億円（前期比3.6%減）を見込んでおります。

以上の結果、不動産事業収入は555億円（前期比4.2%減）を見込んでおります。

■ その他事業

娯楽事業及び物販・飲食事業は、デフレ基調により消費者の低価格志向が続くと予想されるなか、東宝共栄企業(株)、(株)東宝エンタープライズ等において、積極的に顧客ニーズの獲得、巷間の需要に応じた柔軟な営業体制の構築に努めてまいります。その他事業収入は11億円（前期比67.1%減）を見込んでおります。

（注：本報告書中の記載金額及び株式数は、表示単位未満を切捨てております。）



■ 帝国劇場「キャンディード」



■ シアタークリエ「まさかのChange?！」



■ アビティ砧

Investor Information

株式情報（平成22年2月28日現在）

■ 株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	188,990,633株 (自己株式1,915,350株を含む)
株主数	29,041名 (前期末比 2,831名増加)

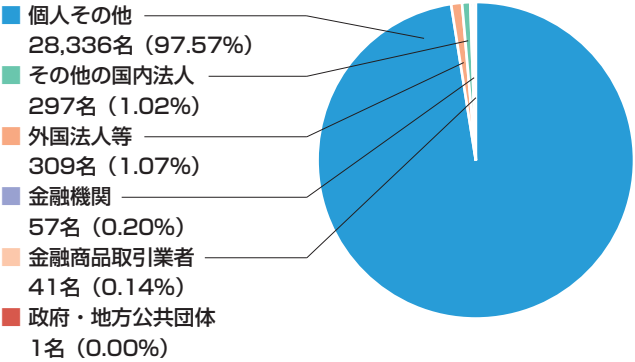
■ 大株主（上位10名）

株 主 名	当社への出資状況	
	持 株 数	持株比率
	(千株)	(%)
阪急阪神ホールディングス株式会社	22,807	12.19
阪 急 不 動 産 株 式 会 社	15,150	8.09
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社	13,664	7.30
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	6,983	3.73
日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信託銀行株式会社（信託口）	5,786	3.09
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	4,940	2.64
株 式 会 社 T B S テ レ ビ	4,521	2.41
株 式 会 社 電 通	3,779	2.02
株 式 会 社 丸 井 グ ル ー プ	3,223	1.72
一般社団法人映画演劇文化協会	2,805	1.49

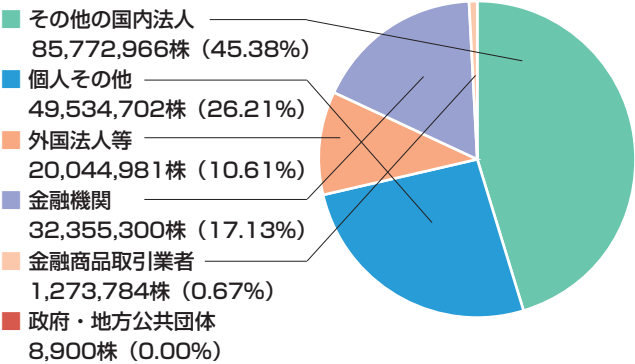
（注）持株比率は、自己株式1,915,350株を控除して計算しております。

■ 所有者区分別株式分布状況

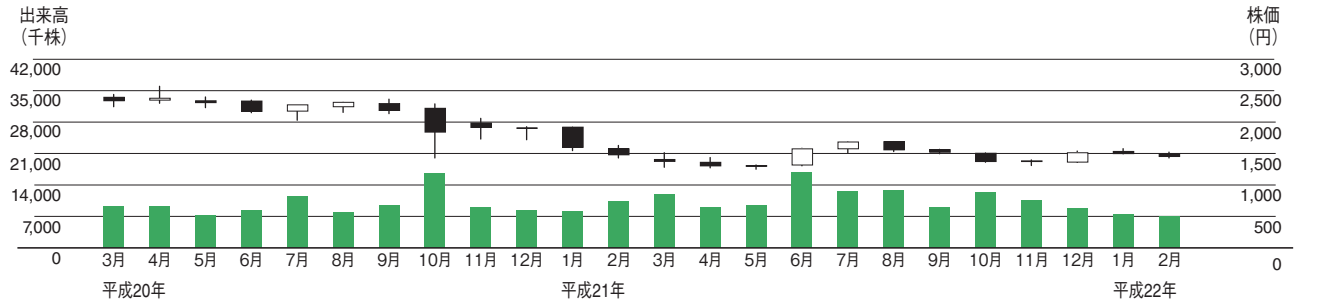
株主数



株式数



■ 株価・出来高の推移



連結貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成22年2月28日 現在	平成21年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	73,228	53,657
現金及び預金	11,823	10,057
受取手形及び売掛金	14,340	17,459
1 リース投資資産	10,007	—
有価証券	3,162	2,442
たな卸資産	6,405	7,872
繰延税金資産	3,018	2,057
現先短期貸付金	15,497	7,497
その他	9,084	6,417
貸倒引当金	△111	△148
固定資産	244,708	255,071
有形固定資産	155,403	164,530
建物及び構築物	91,586	102,923
機械装置及び運搬具	3,524	2,785
器具及び備品	1,925	1,914
土地	55,104	54,455
リース資産	836	—
建設仮勘定	2,423	2,451
無形固定資産	8,871	8,899
借地権	1,026	1,034
のれん	6,125	6,599
リース資産	40	—
その他	1,678	1,265
投資その他の資産	80,434	81,641
2 投資有価証券	56,946	53,670
繰延税金資産	1,232	1,323
差入保証金	16,365	18,383
その他	6,912	9,211
貸倒引当金	△1,022	△947
資産合計	317,936	308,728

1 リース投資資産

新たに「リース取引に関する会計基準」等の適用により、賃貸しております固定資産のうち、この基準を満たす資産を、固定資産からリース投資資産へ振替えております。

2 投資有価証券

主に前期末と比べて株式相場が回復したことにより、保有しております株式等の含み益が増加し、3,275百万円増加しております。

(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年2月28日 現在	平成21年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	39,906	37,685
買掛金	12,629	10,544
短期借入金	99	93
1年以内返済予定長期借入金	309	795
未払金	5,867	5,440
未払費用	5,525	9,774
未払法人税等	2,457	2,389
未払消費税等	847	962
リース債務	209	—
賞与引当金	926	889
役員賞与引当金	7	6
固定資産撤去損失引当金	3,522	—
アスベスト対策工事引当金	—	34
PCB処理引当金	23	—
預り保証金(1年内返還)	1,765	1,867
その他	5,715	4,887
固定負債	52,007	51,241
社債	10,000	10,000
長期借入金	1,190	959
繰延税金負債	10,039	8,436
リース債務	731	—
退職給付引当金	3,952	5,079
役員退職慰労引当金	391	466
PCB処理引当金	188	52
預り保証金	24,071	24,478
その他	1,441	1,767
負債合計	91,914	88,926
純資産の部		
株主資本	196,262	194,088
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	13,837	13,904
利益剰余金	175,441	171,332
自己株式	△3,371	△1,504
評価・換算差額等	8,143	4,289
その他有価証券評価差額金	7,251	3,398
土地再評価差額金	891	891
少数株主持分	21,616	21,424
純資産合計	226,022	219,802
負債・純資産合計	317,936	308,728

連結損益計算書

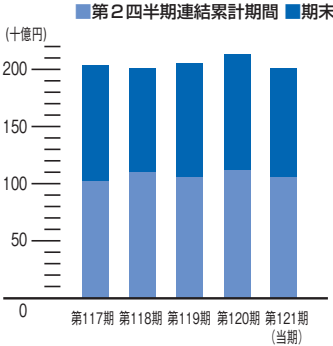
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月 1 日から 平成21年2月28日まで
営業収入	201,699	213,493
営業原価	122,768	129,770
売上総利益	78,930	83,723
販売費及び一般管理費	59,770	60,462
営業利益	19,159	23,260
営業外収益	1,340	3,128
営業外費用	326	618
経常利益	20,173	25,770
特別利益	600	1,474
3 特別損失	8,877	17,094
税金等調整前当期純利益	11,896	10,149
法人税、住民税及び事業税	3,771	7,110
法人税等調整額	△630	△131
少数株主利益	878	876
当期純利益	7,876	2,294

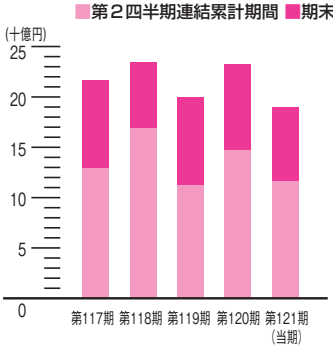
3 特別損失

新宿東宝会館ほか固定資産撤去損失引当金繰入額3,466百万円、減損損失2,030百万円、再開発に伴うテナントへの立退補償金1,111百万円等でございます。

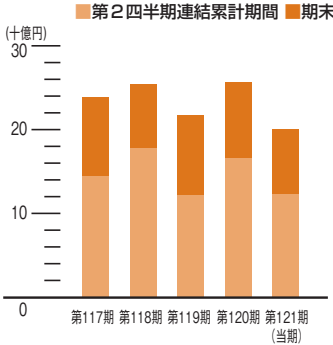
●営業収入



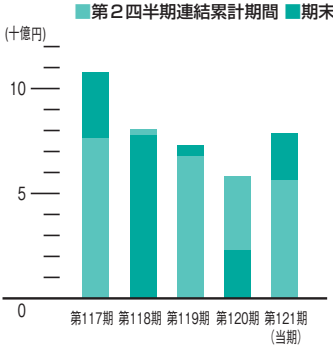
●営業利益



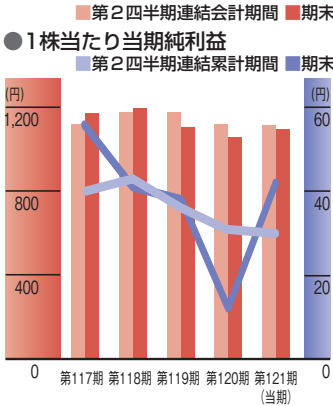
●経常利益



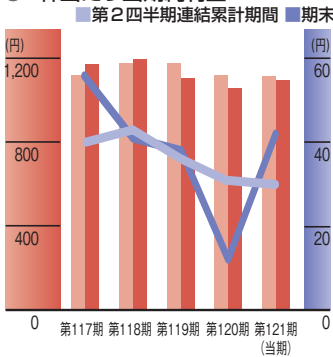
●当期純利益



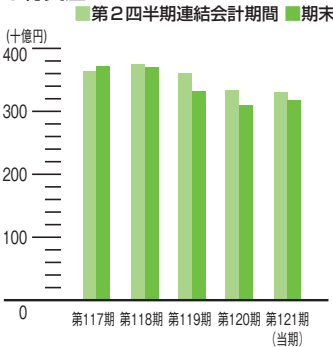
●1株当たり純資産



●1株当たり当期純利益



●総資産



連結株主資本等変動計算書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評価・換算差額等			少数株主 持 分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評 価 差 額 金	土 地 再 評 価 差 額 金	評価・換算 差額等合計		
平成21年2月28日残高	10,355	13,904	171,332	△1,504	194,088	3,398	891	4,289	21,424	219,802
当連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△3,767		△3,767			—		△3,767
当期純利益			7,876		7,876			—		7,876
自己株式の取得				△2,187	△2,187			—		△2,187
合併による増減額		△67		320	252					252
株主資本以外の項目の当連結 会計年度中の変動額 (純額)					—	3,853	0	3,853	191	4,045
当連結会計年度中の変動額合計	—	△67	4,109	△1,867	2,174	3,853	0	3,853	191	6,220
平成22年2月28日残高	10,355	13,837	175,441	△3,371	196,262	7,251	891	8,143	21,616	226,022

連結キャッシュ・フロー計算書

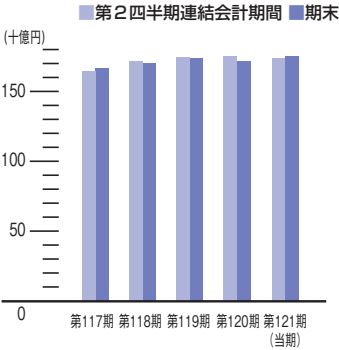
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月 1 日から 平成21年2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,316	27,369
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,142	△8,962
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,678	△21,007
現金及び現金同等物に係る換算差額	△26	△16
現金及び現金同等物の増減額	10,469	△2,617
現金及び現金同等物の期首残高	19,292	21,909
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	12	—
現金及び現金同等物の期末残高	29,773	19,292

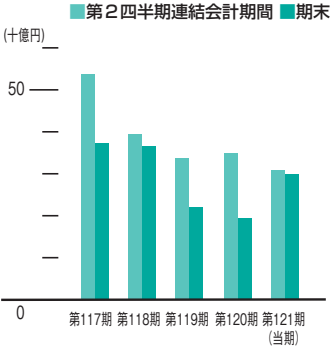
1 合併による増減額

連結子会社であった札幌公衆興業株式会社及び新天地株式会社を吸収合併した
ことによるものです。

●利益剰余金残高



●現金及び現金同等物の残高



東宝グループ各社（連結子会社38社、持分法適用会社4社）

映画製作・配給

(株)東宝映画…………… 映画の企画・製作
東宝東和(株)…………… 洋画の輸入・配給
(株)東京現像所…………… フィルムの現像、CG・デジタル合成などの処理

映画興行

TOHOシネマズ(株)… TOHOシネマズ日劇・TOHOシネマズ六本木ヒルズ・
TOHOシネマズ梅田などの映画館経営
北海道東宝(株)…………… 札幌東宝公衆・恵庭東宝シネマ8などの映画館経営
関西共栄興行(株)…………… 松江SATY東宝・米子駅前SATY東宝などの経営
九州共栄興行(株)…………… 休眠中
(株)公衆会館…………… ビルの賃貸

映像の製作・販売

東宝ミュージック(株)… 映画・ミュージカルなどの音楽製作、音楽原盤・著作権の管理
(株)東宝映像美術…………… 映画・テレビ・CMなどの美術製作、テーマパーク・
イベントの企画・デザイン・施工
(株)東宝コスチューム… 映画・テレビ・イベント・テーマパークなどの衣裳
の製作・レンタル
東宝舞台(株)…………… 演劇・テレビなどの舞台美術・小道具・衣裳の製作
東宝アド(株)…………… テレビ・新聞・雑誌など広告媒体の取扱代理業、映像・
ポスターなど各種宣伝広告物の企画・デザイン・制作
(株)東宝ステラ…………… 東宝作品のビデオ・パンフレット・キャラクター商
品などの流通・販売、映画原版・プリントの管理

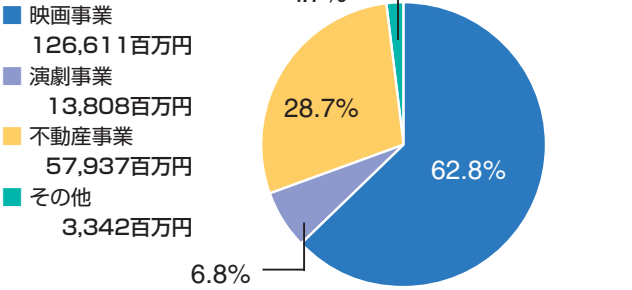
演劇事業

東宝芸能(株)…………… 映画・演劇・テレビなどへの俳優の斡旋、演劇の企
画・製作、イベントの企画・製作
(株)東宝エージェンシー… 演劇公演の団体入場券の斡旋・販売
(株)コマ・スタジアム… 演劇の制作、ビルの賃貸

不動産の賃貸等

国際放映(株)…………… スタジオのレンタル、テレビ番組の企画・制作
三和興行(株)…………… 新宿三丁目東宝ビル・新宿文化ビルの賃貸
東宝不動産(株)…………… 東宝ツインタワービル・帝劇ビルなど不動産の賃貸、劇
場内売店の経営、飲食店の経営、保険代理業、介護事業
萬活土地起業(株)…………… 長崎・熊本・鹿児島におけるビルの賃貸

●当期事業部門別営業収入比率



道路事業

スバル興業(株)他11社… 道路の維持清掃及び補修工事、飲食店の経営、有楽
町スバル座の経営

不動産の保守・管理

(株)東宝サービスセンター… ビルの管理・清掃・警備 (東京・仙台・北海道など)
東宝ビル管理(株)…………… ビルの管理・清掃・警備 (近畿・中部・九州など)

飲食・娯楽事業

東宝共栄企業(株)…………… 調布ゴルフコース、調布テニスクラブの経営
(株)東宝エンタープライズ… 東宝ダンスホールの経営
東宝フーズ(株)…………… ベーカリーショップの経営、劇場コンセッション用
及び一般食材等の販売

持分法適用会社

オーエス(株)…………… OSシネマズミント神戸などの映画館経営、OSビル
など不動産の賃貸、梅田OSホテルの経営
(株)東京楽天地…………… 錦糸町楽天地ビルの賃貸、TOHOシネマズ錦糸町な
ど映画館の経営、ボウリング場・サウナなどの経営
成旺印刷(株)…………… パンフレット・ポスター・チラシなど、各種印刷物の製作
(株)アイアクセス…………… 道路の維持補修

貸借対照表

科目	当 期	前 期
	平成22年2月28日 現在	平成21年2月28日 現在
資産の部		
流動資産	47,126	29,211
現金及び預金	6,295	4,293
受取手形及び売掛金	4,555	5,819
リース投資資産	6,489	—
たな卸資産	4,541	4,058
繰延税金資産	1,763	934
現先短期貸付金	15,497	7,497
関係会社短期貸付金	2,777	4,140
1年以内回収予定関係会社長期貸付金	1,440	540
未収法人税等	2,125	—
その他	1,678	1,959
貸倒引当金	△38	△31
固定資産	176,449	187,109
有形固定資産	84,988	92,596
建物及び構築物	61,302	70,983
機械装置及び運搬具	766	1,017
器具及び備品	486	552
土地	20,345	19,784
建設仮勘定	2,086	258
無形固定資産	2,186	1,944
借地権	925	934
その他	1,261	1,009
投資その他の資産	89,273	92,568
投資有価証券	41,955	38,423
関係会社株式	31,000	31,842
長期貸付金	662	773
関係会社長期貸付金	13,340	18,926
繰延税金資産	—	185
差入保証金	1,537	1,563
その他	1,229	1,628
貸倒引当金	△451	△774
資産合計	223,576	216,321

1リース投資資産

新たに「リース取引に関する会計基準」等の適用により、賃貸しております固定資産のうち、この基準を満たす資産を、固定資産からリース投資資産へ振替えております。

2投資有価証券

主に前期末と比べて株式相場が回復したことにより、保有しております株式等の含み益が増加し、3,532百万円増加しております。

(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成22年2月28日 現在	平成21年2月28日 現在
負債の部		
流動負債	34,286	45,505
買掛金	3,229	4,158
関係会社短期借入金	15,416	17,038
1年以内返済予定長期借入金	149	640
1年以内返済予定関係会社長期借入金	1,424	11,665
未払金	2,360	2,184
未払費用	2,958	4,071
未払法人税等	—	192
賞与引当金	268	250
固定資産撤去損失引当金	3,522	—
アスベスト対策工事引当金	—	34
PCB処理引当金	23	—
その他	4,933	5,270
固定負債	41,876	34,325
社債	10,000	10,000
長期借入金	—	149
関係会社長期借入金	13,645	4,719
繰延税金負債	1,632	—
退職給付引当金	1,465	2,364
PCB処理引当金	47	—
未払役員退職慰労金	406	1,015
預り保証金	14,649	16,076
その他	30	—
負債合計	76,163	79,830
純資産の部		
株主資本	140,871	133,813
資本金	10,355	10,355
資本剰余金	10,626	10,695
資本準備金	10,603	10,603
その他資本剰余金	23	91
利益剰余金	122,887	113,891
利益準備金	2,588	2,588
その他利益剰余金	120,298	111,302
土地圧縮積立金	243	243
建物圧縮積立金	60	61
別途積立金	100,465	95,465
繰越利益剰余金	19,530	15,532
自己株式	△2,998	△1,128
評価・換算差額等	6,541	2,676
その他有価証券評価差額金	6,541	2,676
純資産合計	147,412	136,490
負債・純資産合計	223,576	216,321

損益計算書

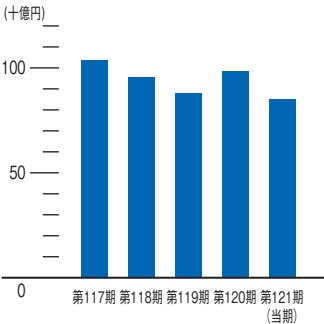
(単位：百万円)

科目	当 期	前 期
	平成21年3月 1 日から 平成22年2月28日まで	平成20年3月 1 日から 平成21年2月28日まで
営業損益		
営業収入	85,008	98,419
営業原価	49,414	58,285
売上総利益	35,594	40,134
販売費及び一般管理費	24,664	24,781
営業利益	10,929	15,353
営業外損益		
収入利息及び配当金	5,074	5,865
その他の営業外収益	50	70
営業外収益計	5,124	5,935
支払利子	331	405
その他の営業外費用	113	161
営業外費用計	445	566
経常利益	15,609	20,722
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	2,211	—
固定資産売却益	209	—
貸倒引当金戻入益	24	535
投資有価証券売却益	—	626
特別利益計	2,446	1,161
特別損失		
固定資産撤去損失引当金繰入額	3,466	—
立退補償金	1,081	115
固定資産取壊費用	353	289
投資有価証券評価損	266	12,508
固定資産臨時償却費	111	309
たな卸資産評価損	—	1,492
その他	142	57
特別損失計	5,421	14,773
税引前当期純利益	12,633	7,110
法人税、住民税及び事業税	294	3,960
法人税等調整額	△424	△571
当期純利益	12,763	3,721

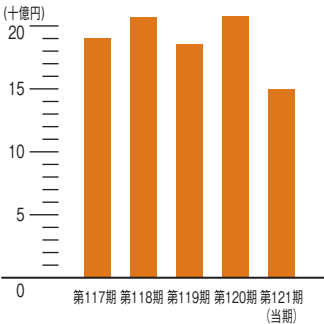
3固定資産撤去損失引当金繰入額

翌期以降に実施予定の固定資産撤去工事に備えるため、費用を合理的に見積もることが可能な工事について、当該見積額を計上しております。

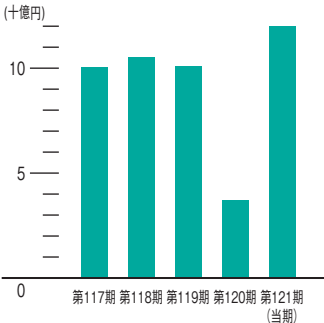
●営業収入



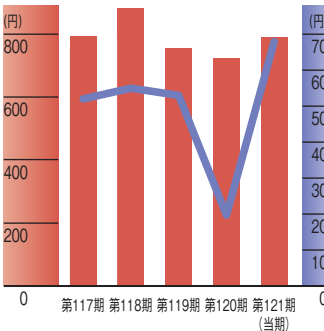
●経常利益



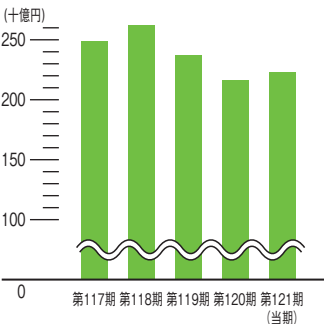
●当期純利益



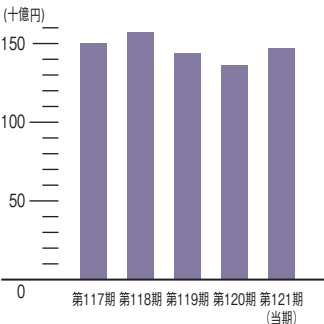
●1株当たり純資産
●1株当たり当期純利益



●総資産



●純資産



株主資本等変動計算書

(平成21年3月1日から平成22年2月28日まで)

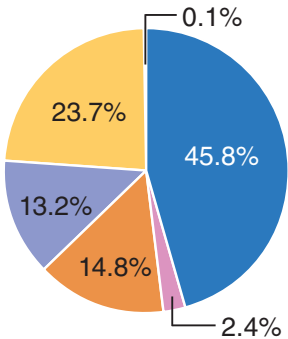
(単位：百万円)

	株 主 資 本											評価・換算 差 額 等	純資産合計	
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金						自己株式	株主資本 合 計		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合 計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金 合 計				
						土地圧縮 積 立 金	建物圧縮 積 立 金	別途積立金	繰越利益 剰 余 金					
平成21年2月28日残高	10,355	10,603	91	10,695	2,588	243	61	95,465	15,532	113,891	△1,128	133,813	2,676	136,490
当事業年度中の変動額														
別途積立金の積立								5,000	△5,000	－		－		－
剰余金の配当									△3,767	△3,767		△3,767		△3,767
建物圧縮積立金の取崩							△1		1	－		－		－
当期純利益									12,763	12,763		12,763		12,763
自己株式の取得										－	△2,190	△2,190		△2,190
合併による増減額			△68	△68						－	320	252		252
株主資本以外の項目の 当事業年度中の変動額（純額）										－		－	3,864	3,864
当事業年度中の変動額合計	－	－	△68	△68	－	－	△1	5,000	3,997	8,996	△1,870	7,057	3,864	10,922
平成22年2月28日残高	10,355	10,603	23	10,626	2,588	243	60	100,465	19,530	122,887	△2,998	140,871	6,541	147,412

●東宝(株)当期部門別営業収入比率

- 映画製作・映画営業 ……393億円
- 映像制作 ……………21億円
- 映像事業 ……………127億円
- 演劇興行 ……………113億円
- 不動産経営・スタジオ ……204億円
- その他 ……………1億円

(各部門とも数字は内部振替控除前のものです。)



配当金について

配当金につきましては、別紙のとおり、1株15円として定時株主総会においてご決議いただきました。

当社といたしましては一層の経営の充実をはかり、業績向上を期すべく努力いたす所存でございます。なにとぞ益々のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

配当金のお支払いにつきましては、特にご指定のない方は同封の配当金領収証により、払渡期間（平成22年5月28日～平成22年6月28日）中に、ゆうちょ銀行全国本店及び出張所並びに郵便局にてお受け取りください。（同領収証を、お取引の貯金口座のあるゆうちょ銀行または預金口座のあるその他銀行窓口にお持ちいただくことにより、その口座へ入金することもできます。）

また、銀行預金口座振込をご指定の方は同封の「配当金計算書」及び「配当金振込先のご確認について」によりご確認ください。

来期の配当予想について

第122期の配当予想につきましては、1株当たり中間5円（普通配当）、期末15円（普通配当5円、特別配当10円）の計20円を予想いたしております。

会社の利益配分の基本方針

当社グループの主要事業であります映画・演劇は、作品により損益の変動が絶えず、安定配当確保と財務体質強化のため内部留保に努めてまいりましたが、収益に対しバランスの取れた株主還元を行うことも重要と認識しております。

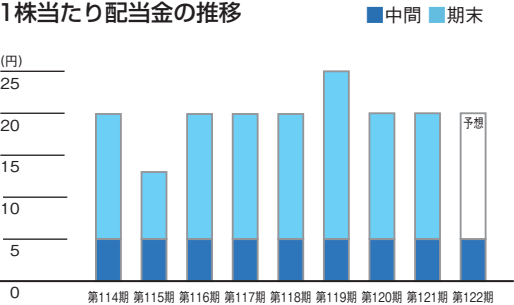
かかる方針のもとに当社は第99期（昭和62年）より年

額100円の配当を続けてまいりました。また平成14年4月には投資単位引下げのため1:10の株式分割を実施し、第114期（平成14年）は創立70周年記念配10円を合わせ年額20円の配当を実施、第115期は3円の特別配当を含め年額13円の配当を行いました。さらに第116期、第117期及び第118期は好業績を反映させた10円の特別配当を含め、年額20円の配当を行い、第119期は10円の特別配当及び創立75周年記念配5円を含め、年額25円の配当を行いました。第120期、第121期も10円の特別配当を含めた年額20円の配当を行いました。

今後も年額10円の普通配当を堅持しつつ、業績と資金需要に意を配りながら株主還元に努めてまいる所存です。

内部留保の使途につきましては、優れたコンテンツの獲得、シネマ・コンプレックスの展開、所有不動産リニューアル等、中長期的展望に基づきグループ収益基盤の強化に当ててまいります。

1株当たり配当金の推移



2010年夏公開！ 期待の3作品



© 2010フジテレビジョン アイ・エヌ・ピー

織田裕二主演の人気シリーズ待望の最新作がついに公開されます。日本映画実写作品の興行収入記録を樹立した第2作から7年。遂に新たな「踊る」が始動しました。

おなじみのキャストに加え、小栗旬をはじめとする豪華ゲストが多数出演。スケール、ストーリーともに前作を上回るシリーズ最高の面白さです。公開は7月3日（土）。



© Nintendo・Creatures・GAMEFREAK・TV Tokyo・ShoPro・JR Kikaku
© Pokémon ©2010 ピカチュウプロジェクト

夏休み恒例の人気アニメシリーズ最新作。迫力のバトルアクションに加え、友情や愛をテーマに、感動的な勇気と冒険のファンタジーが展開します。新ポケモン「ゾロア」と「ゾロアーク」が初登場するほか、人気ポケモン達がスクリーン狭しと大活躍します。公開は7月10日（土）。



© 2010 GNDHDDTW

大ヒットの記憶も新しい「崖の上のポニョ」に続き、スタジオジブリの最新作がこの夏登場します。

イギリスの児童文学「床下の小人たち」を原作に、宮崎駿監督が企画し、スタジオジブリ生え抜きの新鋭米村宏昌監督が贈る渾身の一作。舞台を1950年代のイギリスから現代の日本に移し、身長10cmの少女アリエッティと人間の子供との淡く切ない恋物語が描かれます。公開は7月17日（土）。

Corporate Data 会社概要

■会社概要（平成22年2月28日現在）

会 社 名	東宝株式会社
設 立	昭和7年8月12日
資 本 金	10,355,847,788円
従 業 員 数	368名 但し、嘱託13名、出向受入者24名を含み、出向者111名を含みません。
本 社	東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
支 社	関西（大阪）
ス タ ジ オ	東京 世田谷（成城）
演 劇 直 営 劇 場	本社直轄2劇場（帝国劇場、シアタークリエ）
その他の営業所（主な賃貸ビル）	有楽町センタービル（通称有楽町マリオン） 東宝日比谷ビル（通称日比谷シャンテ） 東京宝塚ビル 東宝シアタークリエビル HEPナビオ 東宝南街ビル
主 な 事 業 内 容	映画の製作、売買及び賃貸借、
映 画	テレビ放送番組等の制作及び販売、 映画のパンフレット及びビデオソフトの製作並びに販売、商品化権に関する事業、 その他
演 劇	演劇の企画、製作及び興行
不動産経営	土地・建物の賃貸借、その他

■役 員（平成22年5月27日現在）

代表取締役 取締役社長	高井 英幸	映像本部長兼映像本部国際、 経営企画各担当 内部監査室直轄
専務取締役	千田 諭	映像本部映画営業、同宣伝各担当
専務取締役	中川 敬	不動産経営、スタジオ各担当 TOHOシネマス株式会社 代表取締役社長
専務取締役	増田 憲義	演劇担当
専務取締役	高橋 昌治	人事労政、総務各担当 兼経営企画担当補佐
専務取締役	島谷 能成	映像本部映画調整、同映像制作各担当
常務取締役	浦井 敏之	経理財務、情報システム各担当 兼特定取締役
取 締 役	角 和夫	阪急阪神ホールディングス株式会社 代表取締役社長
取 締 役	大隈 廣	株式会社コマ・スタジアム 代表取締役社長
取 締 役	石塚 泰	人事労政部長
取 締 役	太古 伸幸	経営企画部長
取 締 役	新坂 純一	映像本部映像事業担当
取 締 役	山下 誠	不動産経営部長
常勤監査役	赤井 紀雄	監査役会議長兼特定監査役
常勤監査役	村上 主税	
監 査 役	大西昭一郎	弁護士
監 査 役	大橋 太郎	阪急電鉄株式会社相談役

■株主メモ

事業年度 3月1日～翌年2月末日
定時株主総会 5月中
配当金受領株主確定日 期末配当金 2月末日
中間配当金 8月31日
基準日 定時株主総会 2月末日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
臨時に基準日を定める。
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711（通話料無料）
※特別口座に関する変更届等用紙のご請求は
電話 0120-244-479（通話料無料）
インターネットホームページ
http://www.tr.mufg.jp/daikou/
http://www.toho.co.jp/toho_ir/
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電
子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載す
る方法によって公告いたします。

●表紙のご紹介

本年4月にオープンした
TOHOシネマズ上大岡

〒100-8415
東京都千代田区有楽町一丁目2番2号
東宝株式会社
総務部 電話（03）3591-1214
http://www.toho.co.jp

■株主優待

株主カード及び株主映画ご招待券交付基準

ご所有株数	株主カード貸与枚数		株主映画ご招待券発行 シート数（半年につき）（※）
	ご本人カード	ファミリーカード	
1,000株～1,999株	1枚	0枚	1シート
2,000株～2,999株			2シート
3,000株～4,999株			3シート
5,000株～9,999株		1枚	6シート
10,000株～19,999株		2枚	10シート
20,000株～29,999株	3枚		15シート
30,000株～49,999株			20シート
50,000株～99,999株			25シート
100,000株以上			30シート

- ・株主映画ご招待は、株主カードと株主映画ご招待券を映画館チケット売場等
でご提示いただき、双方に記載された優待番号が一致したとき、ご利用いた
だけます。
- ・株主カードの発行は、原則として初回のみ、5月下旬または11月中旬となり
ます。
- ※株主映画ご招待券1シートは、**指定2ヶ月間通用券**×6枚となります。
2月末日現在の株主に5月下旬に発行：**6・7月、8・9月、10・11月通用**各2枚。
8月末日現在の株主に11月中旬に発行：**12・1月、2・3月、4・5月通用**各2枚。

株主映画ご優待券交付基準（800円で映画をご覧ください。）

100株～499株	半年 2枚	500株～999株	半年 8枚
-----------	-------	-----------	-------

2月末日現在の株主に6月から11月まで半年間通用の券を5月下旬に発行。
8月末日現在の株主に12月から翌年5月まで半年間通用の券を11月中旬に発行。

株主優待制度についての詳細は、当社ホームページ「会社情報」「株主優待」を
ご覧ください。